

2018年1月1日から2022年12月31日の期間に 淳風会健康管理センターで胸部単純X線写真を受けた方へ

淳風会健康管理センターは、「人間ドックにおける最近5年間の胸部単純X線検査 要精査の動向^{*1}」と題する研究を実施しております。内容については、下記の通りとなっております。尚、この研究についてのご質問などがございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

[研究概要及び利用目的]

肺癌は日本人における癌の死亡数第1位であり、発生率は50歳以上で急激に増加します。年齢の他に慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、アスベスト症などの吸入性肺疾患、肺結核なども肺癌の発症リスクを高めると報告されており、検診や人間ドックでの胸部異常陰影の発見が早期診断、早期治療介入に繋がると考えられます。また、最近では分子標的薬や免疫療法の肺癌術後補助療法としての治療が認可され、早期診断・早期治療による再発、死亡リスクの低下が更に期待できるようになりました。

今回、淳風会健康管理センターで胸部単純X線検査を受けた患者さんについて、要精検者数、要精検率、精検受診率、癌発見率、早期癌割合を年次別に集計し、当施設での精度管理や今後の課題について検討することを目的としています。

[研究期間]

2024年6月19日（倫理委員会承認日）～2027年12月31日

[取り扱うデータおよび試料・情報の項目]

2018年1月1日～2022年12月31日の間に胸部単純X線検査を受けた男女について、診療録より下記の情報を収集いたします。

・年齢、性別、疾患名、検診月日、精密検査月日、異常陰影の局在、診断時の病期、組織型、要精査の症例については、前回の検診受診日。

[個人情報保護の方法]

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの情報はどなたのものであるか識別できないことができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、淳風会健康管理センターにおいて外部から接続できない状態で厳重に保管します。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

施設間のデータの集約は、対応表をもって行い、対応表は各施設の個人情報管理者が厳重に管理し、第3者にはその情報が誰のものかまったくわからないようにして研究を進めます。研究に関するすべての記録・資料は、研究結果を再現できるよう確実に保管いたします。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、研究倫理審査委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し病院のホームページに掲載します。ただし、患者さんが本研究に関する情報使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

[データ提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を用いており、情報をご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

[研究の公表について]

本研究で得られた知見に基づきその成果が学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人情報や個人を特定できる情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

淳風会ロングライフホスピタル

医長 光宗 翔

連絡先：086-252-1185, 086-226-2666

※1：“要精査の動向”では、要精密検査となった症例が要精密検査の判断が妥当であったのか、過剰な判断であったのかを年次毎に振り返るためにデータ収集を行います。